

J R 東海 労申第 1 3 号
2 0 1 9 年 1 0 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

山梨リニア実験線における火災に関する申し入れ

マスコミは、「10月7日午後4時5分ごろ、山梨リニア実験線車両基地で、車両点検中に機械から出火、約1時間20分後に消し止められた。火は作業員の衣服に燃え移り、社員2名が重傷、機器メーカー社員1名が軽傷を負った。J R 東海東京広報室は当初、『詳細を把握していない。公表するかどうか未定』としていたが、その後取材に応じ『電気回路のスイッチを入れたときに発火した』と公表」などと報じた。この火災について下記の通り申し入れるので、団体交渉を開催すること。

記

1. 報道によれば、試験車両の内部で発火し燃え広がったと考えるが、発火の原因、発火箇所、延焼範囲、消火作業など、火災の詳細を時系列で明らかにすること。
2. 「社員2名が重傷、機器メーカー社員1名が軽傷」という報道内容は事実か、明らかにすること。
3. 報道内容からすれば相当大きな車両火災で、しかも社員と関係会社の社員が被災したのにも関わらず、事象を公表しようとしなかったのか、明らかにすること。
4. 「走行とは無関係の機器のトラブルで走行に支障がない」として、「体験乗車」を実施するとも報道されているが、火災の原因が判明するまで「体験乗車」は中止すること。

以 上